

株式会社 KIT



 **RADEN**

SQLServer 接続プラグイン
ユーザーズガイド

はじめに

この度は弊社ソフトウェア『RADEN SQL Server 接続プラグイン』をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ございます。

本書では RADEN SQL Server 接続プラグインの使用方法について説明します。

著作権および商標について

RADEN は、(株) KIT の登録商標です。

Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国、および その他の国における登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

本書の一部または全部を許可なく複製、複写、転載することを禁止します。

Copyright (c) 2012 KIT Co.,Ltd. All Rights Reserved.

目次

1. SQLServer 接続プラグインについて.....	1
2. 追加される部品.....	1
3. プラグインを使用する.....	1
3.1 部品の配置.....	1
3.2 接続の設定.....	2
3.3 データベースとの接続.....	3
3.3.1 データストアとの接続.....	3
3.3.2 テーブル情報の取得.....	4
3.3.3 テーブル情報の更新.....	5
3.4 データベースとの切断.....	6
4. 部品リファレンス.....	7
4.1 SQLServer 接続.....	7

1. SQLServer 接続プラグインについて

SQLServer接続プラグインは、SQLServerに接続する機能をRADENに追加するプラグインです。既存のSQLServerに接続し、データの取得・更新が出来ます。

2. 追加される部品

SQLServer 接続プラグインをインストールすることで、以下の部品が使用可能になります。

種類	名称	概要
プレースホルダ	SQLServer 接続	外部のSQLServerのデータベースと接続します。

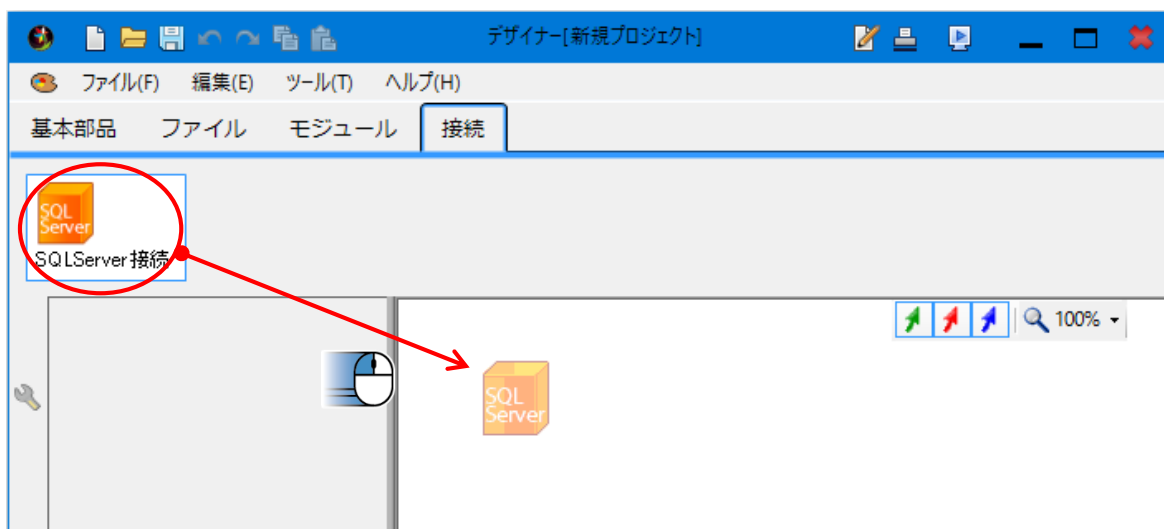
3. プラグインを使用する

この章では、SQLServer 接続プラグインの基本的な使い方を説明します。

3.1 部品の配置

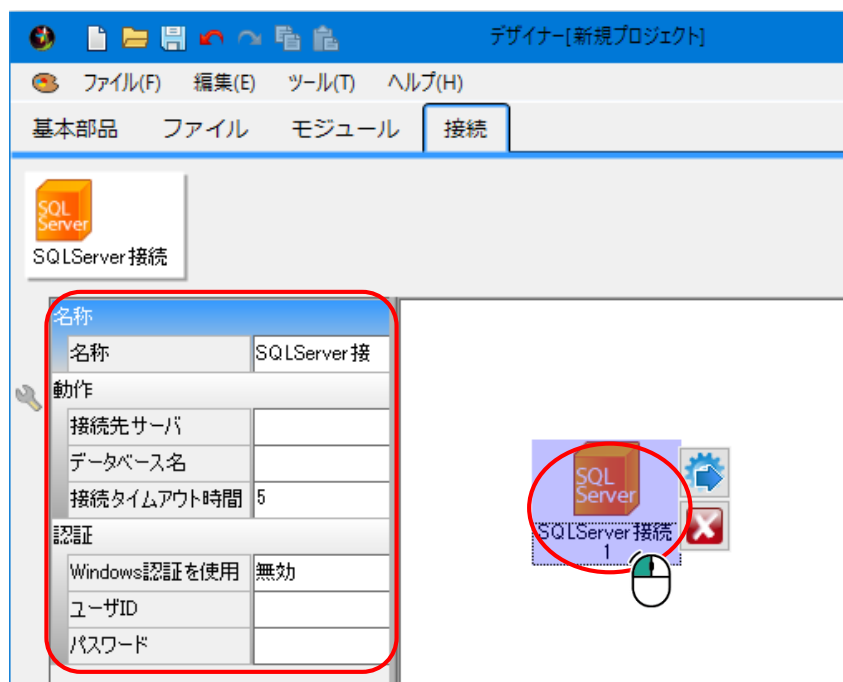
RADEN デザイナーのオブジェクト関連図に接続部品を配置します。

「画面」や「ファイル入力」等のRADENの他のオブジェクト部品と同様に、部品パレットからオブジェクト関連図エリアに接続部品をドラッグ&ドロップします。



3.2 接続の設定

SQLServer と接続するための設定は、接続部品のプロパティで行います。
オブジェクト関連図に配置した接続部品を選択すると、RADEN デザイナーのプロパティグリッドに設定項目が表示されます。



接続に必要な項目をプロパティから設定します。

設定内容の詳細は、「4. 部品リファレンス」をご参照下さい。

3 プラグインを使用する

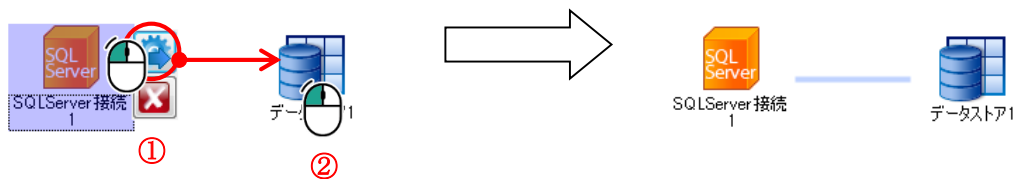
3.3 データベースとの接続

SQLServer 接続部品は、データストアと接続して使用します。

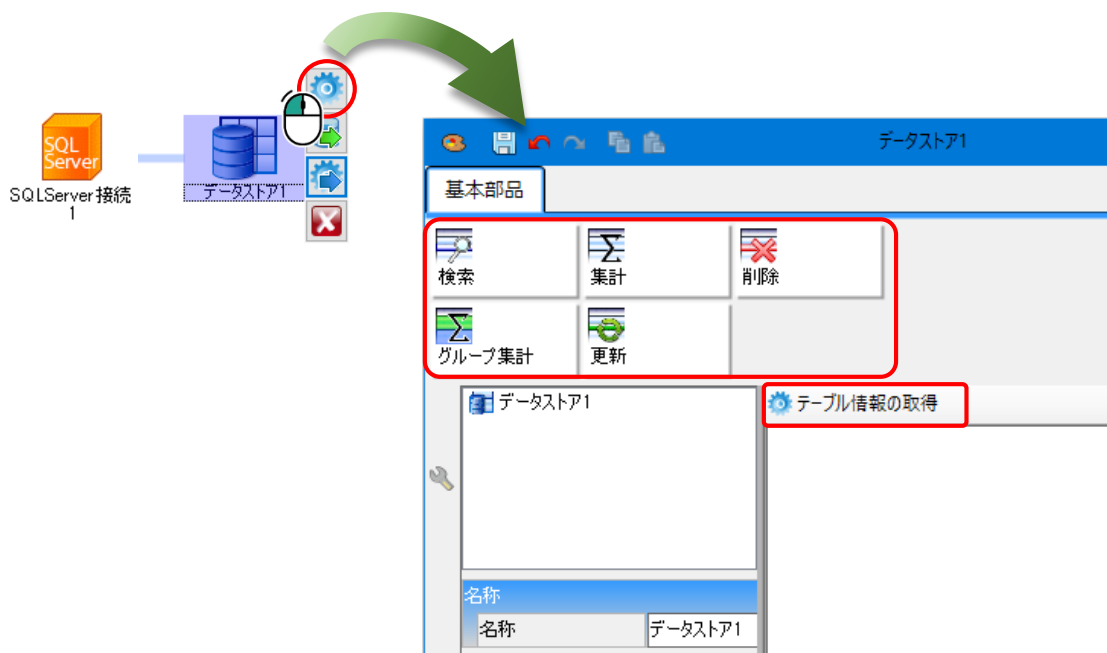
SQLServer 接続部品とデータストアを参照コネクタで接続することで、接続されたデータベースの情報を使用できるようになります。

3.3.1 データストアとの接続

SQLServer 接続部品からデータストアへ、以下の様に参照コネクタを接続します。



SQLServer 接続部品を接続したデータストアは、接続先のデータベースを扱う専用のデータストアとなります。そのため、標準のテーブル部品 (一時テーブル/テーブル) は使用できなくなります。部品パレットには、テーブル部品が表示されなくなり、クエリのみ表示されます。



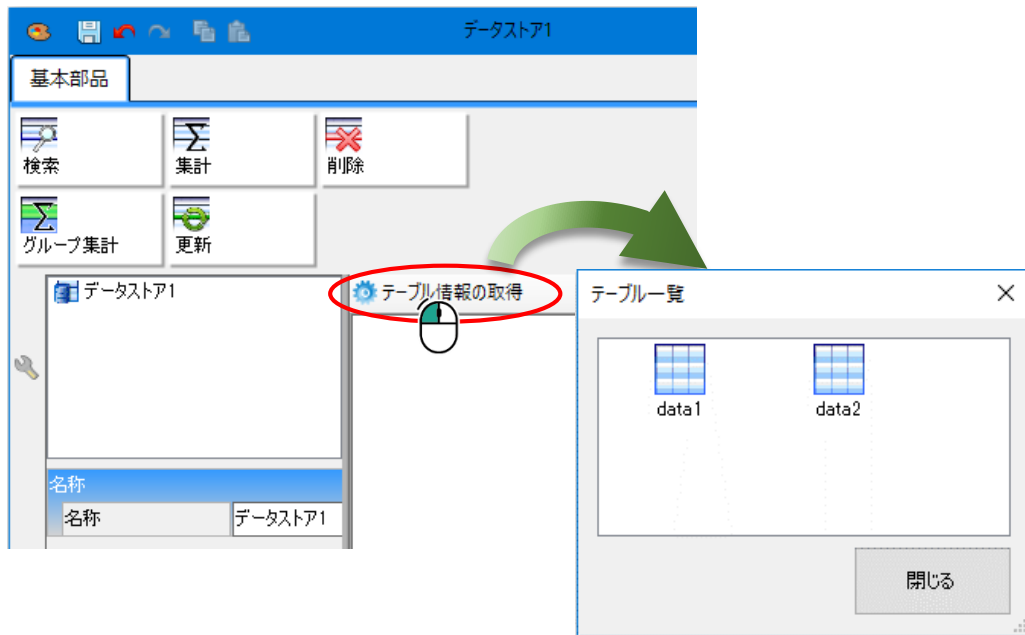
テーブルは接続先のデータベースのテーブル情報を参照して使用します。使用方法は次項で説明します。

3.3.2 テーブル情報の取得

SQLServer と接続中のデータストアでは、接続先のデータベースからテーブルの情報を取得して、使用します。

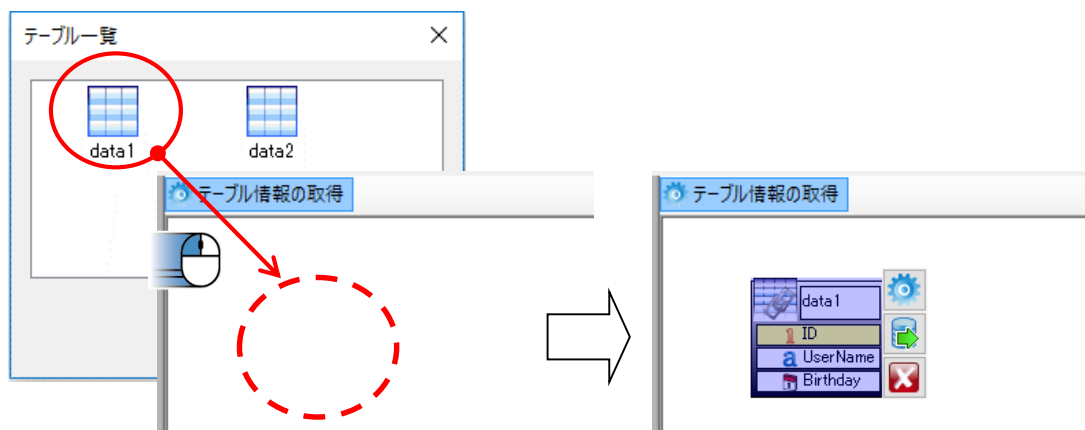
テーブル情報は、以下の手順で取得します。

- (1) データストア編集画面の「テーブル情報の取得」を選択します。



テーブル一覧画面が表示されます。

- (2) テーブル一覧画面から、使用したいテーブルをデータストア編集画面にドラッグ&ドロップします。



データストアのオブジェクト編集エリアにテーブルが配置されます。

取得したテーブルは、標準のテーブルと同じように、追加・更新・削除といった操作を行えます。ただし、RADEN 側からテーブル構造の変更は行えません。

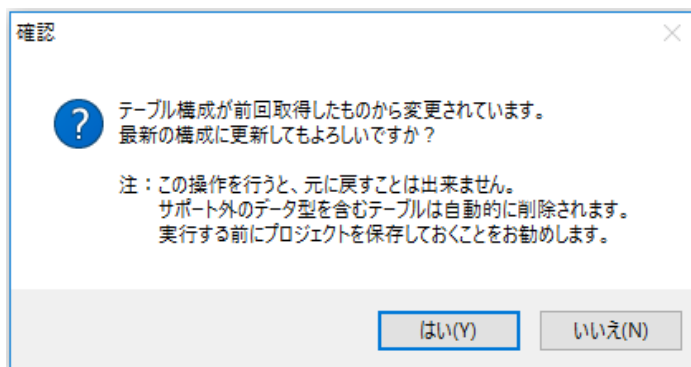
3 プラグインを使用する

3.3.3 テーブル情報の更新

接続先のデータベースのテーブル情報が変更された場合、対応するテーブルの情報も更新できません。

データベースの構成が変更された状態で「テーブル情報の取得」を行うと、自動的にテーブル構成の比較が行われます。

変更が見つかった場合、以下のメッセージが表示されます。



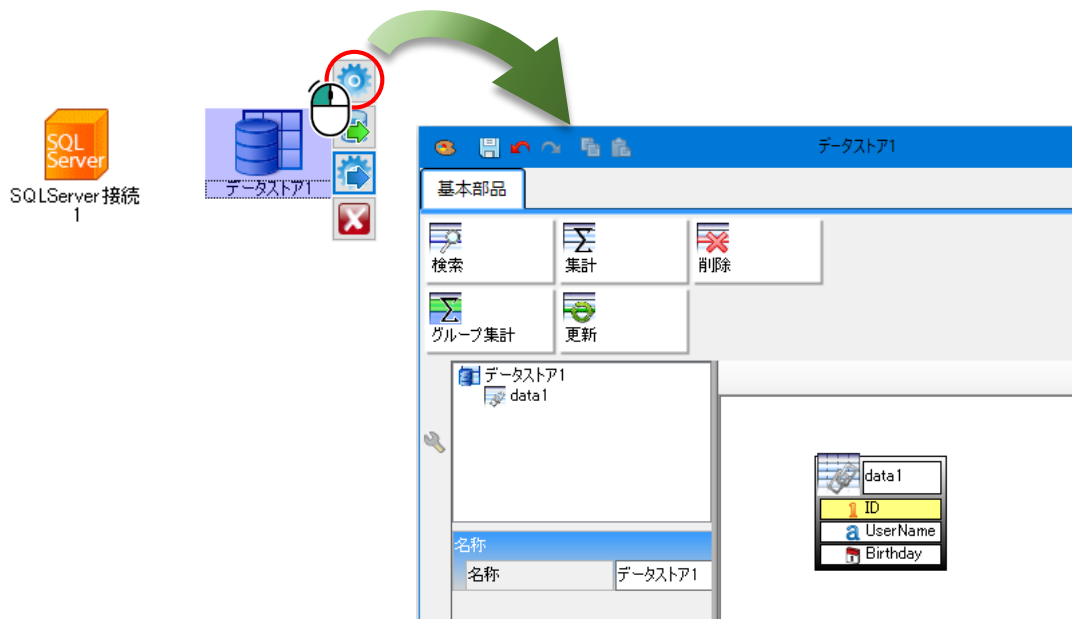
「はい」をクリックすると、参照テーブルの情報が最新のテーブル構成で更新されます。

※テーブル名が変更されていた場合、元の参照テーブルは削除されます。新しく変更後のテーブルの参照を追加して、データリンクなどの再設定が必要となります。

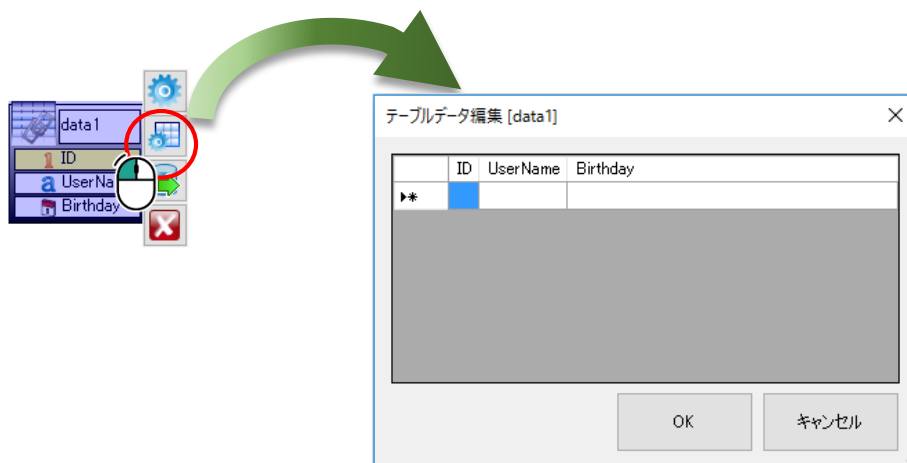
※フィールド名が変更されていた場合、そのフィールドを使用したデータリンクの設定は削除されます。

3.4 データベースとの切断

SQLServer 接続部品を削除、もしくはデータストアとの参照コネクタを削除した場合、SQLServer との接続が切断されます。切断後、データストア内の参照テーブルは、標準のテーブルのようにローカルで使用することができます。



接続されている場合と同様にテーブル構造の変更はできませんが、初期データの設定は可能です。



4. 部品リファレンス

4.1 SQLServer 接続

Microsoft SQL Server に接続する為のオブジェクトです。

●プロパティ

 名称




オブジェクトの名称を指定します。(標準値: SQLServer 接続+連番)

 接続先サーバ




接続先のサーバ名を指定します。

 データベース名



接続するデータベース名を指定します。

 接続タイムアウト時間



データベースへの接続がタイムアウトするまでの時間を秒単位で指定します。


(標準値: 5)

 Windows 認証を使用



SQL Server の接続に、Windows 認証を使用するかを指定します。(標準値: 無効)

「有効」の場合は、現在ログオンしているユーザーで Windows 認証を使用して接続されます。

 ユーザ ID



SQLServer 認証での接続ユーザー名を指定します。

 パスワード



SQLServer 認証でのパスワードを指定します。

◇機能

機能はありません。

□イベント

イベントはありません。



SQLServer 接続プラグイン ユーザーズガイド

2012年 4月 1日 第1版
2015年 2月 1日 第3版
2016年 4月25日 第4版

発行

株式会社 KIT

〒460-0026

愛知県名古屋市中区伊勢山2丁目11-15 ASビル金山

Copyright (c) 2013 KIT Co.,Ltd. All Rights Reserved.